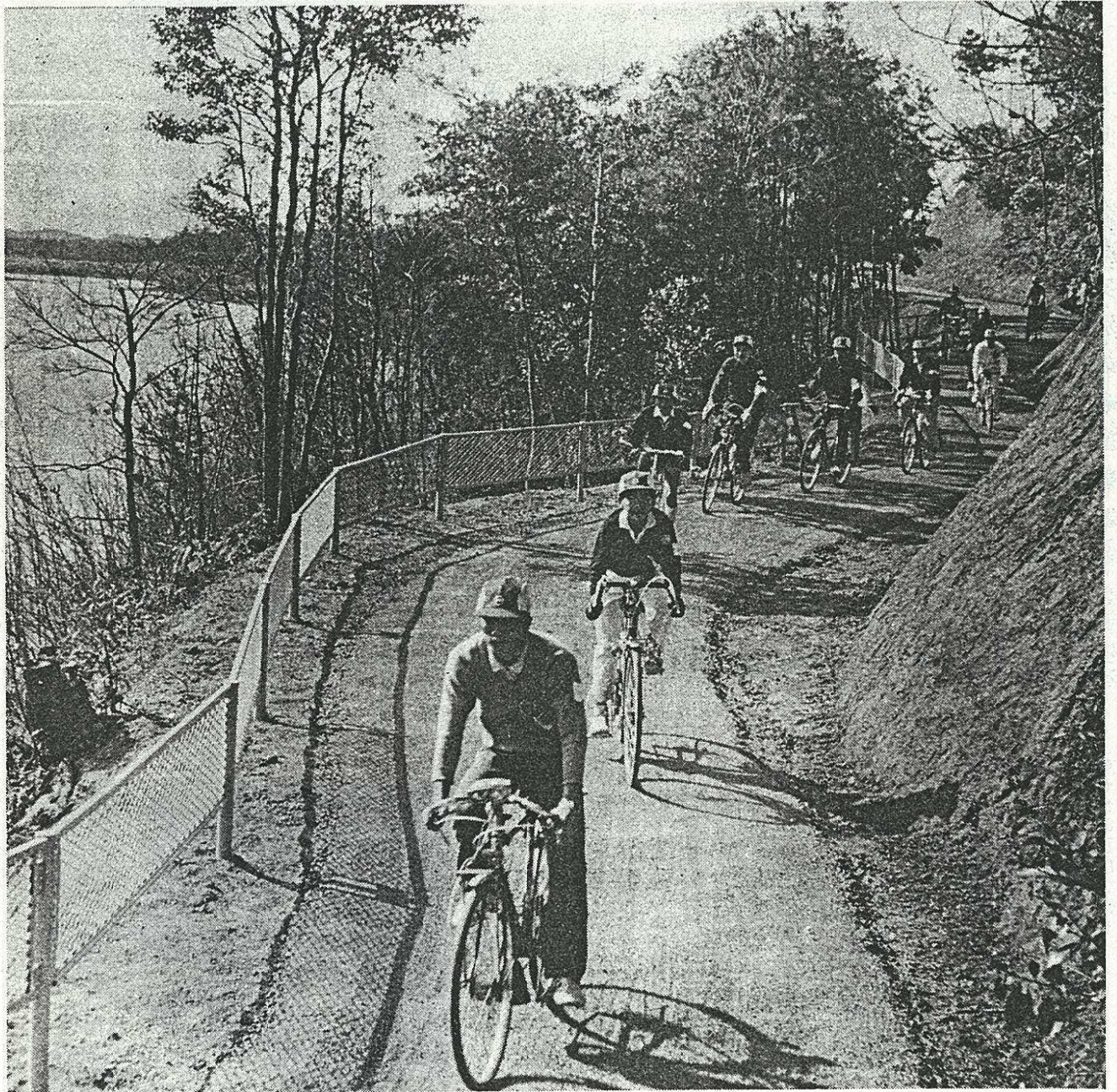


北九州

市議会だより

北九州市議会事務局

昭和48年11月1日発行 No.43



玄海サイクリングコース

＝ おもな内容 ＝

9月定例会の概要…………… 2	常任委員会の審査から…………… 7・8
決まったおもなもの…………… 2・3	山西覚議員の逝去…………… 8
質疑応答…………… 4・5	請願と陳情…………… 8
決算特別委員会の審査から…………… 6・7	お願い…………… 8

昭和47年度決算

歳入総額1,750億6,844万円

歳出総額1,673億8,404万円

決算の概要

一般会計	
歳入	992億3,048万円
歳出	950億4,985万円
差引	41億8,062万円
翌年度へ繰越すべき財源	9億3,965万円
実質収支	32億4,098万円
特別会計(国保など21会計)	
歳入	633億6,435万円
歳出	616億178万円
差引	17億6,257万円
企業会計(上水道など4会計)	
歳入	124億7,361万円
歳出	107億3,241万円
差引	17億4,120万円
留保資金等11億4595万円 を加え資本的収支不足額 を差引と単年度実質収支	9億1,912万円

九月定例会

決算・中央図書館契約など

七十九件議決

九月定例会は、九月十九日から十六日間の会期で開かれ十月四日終わりました。

提出された議案は市長提出の昭和四十七年度決算をはじめ、昭和四十八年度補正予算など六十六件と、議員提出の意見書、決議など十六件です。

市長提出議案のうち二十七件は決算特別委員会、三十八件は所管の常任委員会それぞれ慎重に審査されたのち、いずれも認定または可決し、人事議案一件は原案どおり同意しました。

議員提出議案十六件については本会議最終日に「各種資材等の不足と価格高騰に対する措置に関する意見書」など十三件は可決、他の三件は否決しました。



決まおたつもの

市長提案

昭和四十八年度一般会計補正予算について

新生児の誕生を祝う出産祝金制度、休日急患診療センターの設置に要する費用および学校整備費、中央図書館建設費、街路事業費などに充てるため、六十七億五千万円の追加をするもの
昭和四十八年度特別会計補正予算について(九会計で)

土地区画整理事業費、競輪・競艇事業費および公債償還などに充てるため、十三億二千万円の追加をするもの

北九州市議会議員の報酬、費用弁償および期末手当に関する条例等の一部改正について
職員の特務勤務手当に関する条例の一部改正について

夜間看護手当を増額するもの
退隠料等の年額の改定に関する条

例の一部改正について

恩給法等の一部を改正する法律による恩給年額の改定に伴い、退隠料等の年額を増額するもの
特定国有施設取得開発基金条例について

市内に所在する大規模な国有施設で将来市において、公共的な用途に活用することが必要と認められるものについて、その取得および整備に要する資金に充てるため基金を設置するもの

社会福祉施設の設置および管理に関する条例の一部改正について
八幡葬儀取扱所の葬具品の取り扱いを廃止するため関係規定を改めるもの

産業観光施設の設置および管理に関する条例の一部改正について
環境庁の国民宿舎利用料基準の改定に伴い、市立国民宿舎の使用料を改定するもの

都市公園、霊園および駐車場の設置および管理に関する条例の一部

改正について

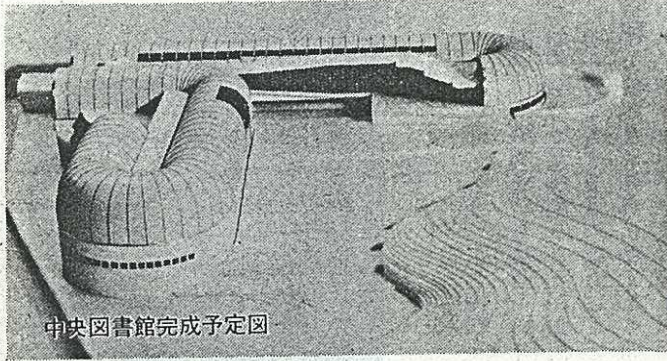
和布川公園の軽飲食店の新設等のため、関係規定を改めるもの
都市計画事業徳力土地区画整理事業施行規程の一部改正について
事業執行の便宜のため事務所を移転するもの

火災予防条例について

火災予防条例準則並びに消防法および消防法施行令の一部が改正されたため、条例の全部を改正するもの

土地の取得について(三件)

仮称第三吉田小学校用地
仮称第二折尾東小学校用地
汚泥船積施設建設用地
水稲無事もどし金の交付について
昭和四十五年度から昭和四十七年度までの三年度間の農作物共済



中央図書館完成予定図

加入のうち、水稲無事もどし金交付該当者に対し水稲無事もどし金の交付を行うもの

土地改良事業の施行について

土地改良事業を施行するため、県知事に施行認可の申請をするもの

小倉区大字春吉(松ヶ鼻地区)

小倉区大字石田(井手尾第二地区)

若松区大字安屋(逆水地区)

若松区大字乙丸

市有地の処分について(二件)

門司区大字恒見地先公有水面埋立地の一部を新門司臨海工業用地として売り払うもの

市営住宅の明渡し請求等に関する訴えの提起について

市営住宅の明渡し並びに市営住宅の使用料の滞納分、督促手数料、延滞金などの支払の請求をするもの

築造工事請負契約締結について(三件)

下水道施設を築造するためのもの

昭和四十八年度高層公営住宅建設工事請負契約締結について(五件)

幸の神西団地 一〇〇戸

馬寄団地第三工区 一五六戸

馬寄団地第四工区 八〇戸

勝山北団地第三工区 七二戸

勝山北団地第四工区 一四四戸

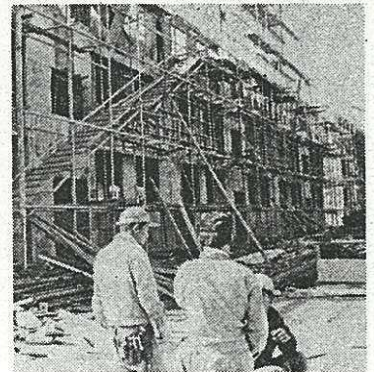
市営住宅を建設するためのもの

中央図書館請負契約締結について(三件)

中央図書館を建設するためのもの

人事委員会委員

大岡 豊



議員提案

各種資材等の不足と価格高騰に対する措置に関する意見書について
各種資材等の不足と価格高騰が国民生活に深刻な影響を与えているので、その解決を図るため、総合的諸施策の実施を国に対して要請するもの

原爆被害者完全援護法の制定に関する意見書について

被爆者およびその家族の社会的、経済的不安を解消するために、法律を制定して救済の充実に図るよう国に対して要望するもの

産炭地域振興臨時措置法に基づく産炭地域開発就労事業の適用に関する意見書について
北九州市の産炭地域開発事業計画における産炭地域開発就労事業の適用を受ける事業として、一般道路、河川、公園等の整備についても開発就労事業が適用できるように国に対して要望するもの

公立義務教育諸学校の学級編成および教職員定数の標準に関する法律の早期抜本改正に関する意見書

について

時代の要請に即応した教育の推進を図るために、現行の学級編成基準および教職員定数の改善を国に対して要請するもの

中小企業の体質改善助成に関する決議について

中小企業に対する金融対策、技術指導、診断業務、経営情報の提供等を含む総合的対策を強化するとともに適切な助成措置を講じるよう関係機関に対して要望するもの

港湾労働者の雇用の安定等に関する意見書について

日雇港湾離職者対策として雇用促進の確立、公的職業訓練所の設置、職業訓練手当の増額などを国および関係機関に要請するもの

公害健康被害の救済に関する決議について

大気汚染による公害被害者が救済の対象から除外されることのないよう指定地域の拡大、生活補償的なものを含めた被害者救済の充実強化、企業負担による公害病患者救済基金制度等の早期確立などについて要請するもの

鉱害関係法規の改正に関する意見書について

産炭地の真の振興と鉱害関係法の精神である国土保全、民生安定を図るために法適用対象の拡大策の措置を含む現行鉱害関係法規の改正を国に対して要請するもの

超過負担の全面解消に関する意見書について

国の負担金、補助金について

は、補助率の引上げ、補助単価、補助基準、補助対策の改善を図るよう国に対して要請するもの
馬島石油基地化反対に関する決議について

馬島住民の生活保障について適切な施策をとるとともに、馬島の石油基地化に反対し、この計画の即時中止を関係方面に強く要請するもの

北方領土の早期返還に関する決議について

我が国固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島等北方領土の早期返還のため格段の努力をほらい、日ソ間の平和と友好協力関係を確立するよう国に対して要請するもの

九州縦貫自動車道建設促進に関する決議について

地域住民の要請する公害防止、大幅な側道または緑地緩衝地帯の設置等に適切な措置を講じて、建設の促進を図るよう関係機関に対して要望するもの
身体障害児(者)の医療無料化に関する意見書について



質疑 応答



九月十九日から四日間本
会議で十八名の議員が、議
案に対する質疑や市政に対
する一般質問を行ないまし
た。
そのなかから取り上げま
した。

黒字

その理由

議員 大幅黒字の要因は、二十
八億円余の事業繰越と二十一億円
余の不用額によるものであること
は明らかです。予算に計上して市
民に公約した事業が遂行できず、
結果的には大幅黒字になった事態
を、市長はいかがお考えですか。

市長 黒字の原因としては、用
地買収の難航、資材の高騰や品不
足による事業繰越、市税等の予想
を上まわる増収などがあげられま
す。

議員 予算の執行率の低下は、大都市
に共通の普遍的な現象であり、こ
れは、住宅、道路等を建設するた
めの用地取得に多くの時間を要す
るからです。

議員 北九州市は、他の政令都市に比
べて、予算の執行率は悪い方は
ありません。

議員 市民生活に関係の深い児
童福祉費、清掃事業費がそれぞれ

理由

一億数千万円づつ未執行になって
いますが、その理由を説明して
ください。

市長 児童福祉費の未執行の理
由は、国から交付されます措置費
の扶助単価の引き上げが、予定額
を下まわったために、それに見合
う財源が不用となったのです。

議員 清掃費においては、横田のごみ
埋立地の買収交渉が一部まとまら
なかったためです。

議員 水道料金を改定した初
年度において、十四億六千万円の
純利益を生じておりますが、料金
改定の上げ幅が大きすぎたのでは
ありませんか。

市長 黒字となったのは、水需
要の伸び、給水装置新設等受託工
事の収入増、油木ダムから供給さ
れる水が良質なための浄化費用の
減少などによるものです。

議員 単年度黒字になりましたが、油
木隧道の減価償却、資材の高騰の
中で、事業の遂行など考えますと

財政の今後の見通しは、けっして
樂觀できない状況です。

市政広報の強化を図れ

議員 市政に対して市民の協力
を得るためには、市の実情を十分
知ってもらうことが大切です。

市長 市政だよりは、広報の手段とし
ては高く評価されますが、ニュー
ス価値は速報性に乏しく、これを
補うためテレビの活用あるいは市
の広報室の中に、市の外郭団体と
して市政速報室を設置し、掲示板
の増設などニュース速報、広報の
強化に努める考えはありません
か。

市長 市としては広報活動に力
を入れ、市民に市政をすみやかに
お知らせし、早く理解していただ
くように努力はしていますが、ま
だ十分だとは思っていません。

議員 ご指摘のありましたテレビの活
用あるいは掲示板を増設して、広
報の速報性を強化する問題につ
きましては、来年度の広報計画を抜
本的に考えなおす中で慎重に検討
していきます。

身障者モデル都市の 宣言とその対策は

議員 心身障害者の福祉対策
は、身障者に対する単なる同情や
あわれみではなく、身障者が人と
してその存在を尊重され、生活を
営む権利を保障し実現することが
基本的理念でなければなりません。

市長 市は九月十日心身障害者福祉モ
デル都市の宣言をしましたが、そ
の理由と決意、また、いつまでに
どのような福祉都市にするか、そ
の基本計画や具体的な施策を伺
います。

市長 都市の自己宣伝のため
なく、市が心身障害者を取りまく
諸問題を真剣にとらえ、身障者に
対する理解と社会連帯の理念に基
づいて、市民の認識と協力を得る
ために、モデル都市の指定を希望
し宣言を行なったのです。

議員 市はこのモデル都市の町づくり
のため、今年度の予算に七億五千
万円を計上していますが、福祉に
は終着駅はないと思えます。

市長 そこでまず、五か年計画をた
て、身障者のモデル都市づくりを
進めていかなければならないと思
っています。

大里に武道館を建設

議員 現在の門司区役所は、広
石の高台にあり、足場が非常に不
便ですので、日銀跡地に移転して
区役所跡にはスポーツ
センターを建てる考え
はないですか。

市長 日銀跡地に区
役所を移すことは面積
からみてむりと思いま
す。門司港地区には、
武道館もありますか
ら、人口が増加してい
る大里地区に地元から
の要望もありますの
で、武道館を建てる
と考えています。

議員 用地についてはご協

力をお願いします。

議員 日銀跡地の利用については、門
司港地区の発展に結びつくような
施設をと思い、案をつくって所有
者の福岡銀行に提出しておりま
す。

市長 銀行としても跡地の利用につ
いて慎重を期しておりますが、銀行
が調査を委託しております専門家
が、近々門司に来られますので、
その時には地元の意向を十分伝え
たいと思います。

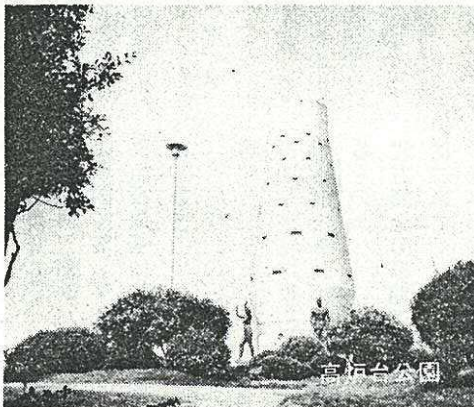
高炉台公園に散策路

議員 高炉台公園は最近あまり
利用されていません。その理由は
入園道路にあると思えます。

市長 この際、地域開発の一環として
中央町商店街と高炉台公園を有機
的に結びつけるために、中央町商
店側に入園道路を新設してはどう
でしょうか。それとあわせ、案内
板その他公園施設の充実を図る考
えはありませんか。

議員 ご指摘のように商店街か
ら進入道路をつけたり、施設の充
実を考えた
てみたい
と思いま
す。

市長 用地の
確保につ
いて、地
元の皆さ
んがた
の、ご協
力をお願
いいたし
ます。



自転車道の整備

議員 北九州市は自転車安全利用モデル市に指定されましたが、市ではどのように自転車道路を整備するのですか。

市長 市、県あるいは警察などの関係機関で自転車安全利用推進協議会をつくり、そこでモデル地区の規模、道路の整備方法、駐車場など具体的な安全利用計画を作成することになっていきます。

また、全市をモデル地区に指定することはいささか現実的ではありませんので、市内に半径六キロメートルぐらいの敷地を指定し、自転車道の整備をしますとともに、その敷地をサイウリング道路で結ぶ案を考えています。

休日急患

診療センター設置

議員 休日診療対策はどのように進めていくのですか。

また、市立病院にも、夜間、休日の救急体制をひき、医師、看護婦ときの救急車を配置したらどうですか。

衛生局長 市内の東部と西部に休日急患診療センターを一か所ずつ設置します。それぞれ内科、小児科の二科をおき、十九床のベッドを備え、二十四時間体制で臨みます。

また、消防局の救急指令センターに、医師二名を駐在し、患者に対する指示や医療機関との連絡にあたります。

昭和四十九年度からは各区にサ

ブセンターを設置する考えですがとりあえず、十一月一日から市内二十四か所に在宅当番医制をとって、休日診療に備えます。

病院局長 市立病院に救急体制をおく必要はあると思いますが、医師不足が深刻な現在においては困難であります。

保育料の値下げなど

議員 保育料が高く、市民に大きな負担を与えています。

諸物価高騰のうちに、逆に値下げを断行する行政の妙味を發揮してはどうですか。

市長 保育料の値下げについては、現在の料金を据え置くだけでも一億円を必要とします。

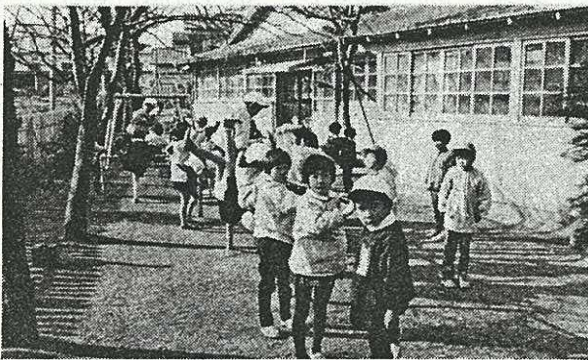
値下げをするについては相当の覚悟がいります。

来年度予算の中で十分検討してみます。

議員 無認可保育所の実態調査

夜間も働かなければならない父母から、夜間保育所を設置してほしいという要請が多くありました。

厚生省は昭和四十九年度から、無認可保育所に補助金を支出することを決定しましたが市も積極的に援助してはどうですか。



市長 北九州市が今年度から無認可保育所に、備品、耐久消費財の援助をすることになり、その実態がよくわかるようになりました。夜間保育を行なっている無認可保育所は市内に数か所ありますが、公立保育所は夜間保育を行なっていないです。

厚生省の新たな方策の中で、無認可保育所がどのようにとり扱われるかをよく見て、市の施策を検討していきます。

各区に

青少年総合センターを

議員 社会教育を充実させるため、自然環境の中で誰でもいつでも気軽に利用できる青少年総合センターを各区に建設する考えはないですか。

市長 グループ活動に対して施設の提供または機会を十分に与えることは常に考えています。

市民の文化的活動のために大規模な美術館、勤労者会館、総合体育館、中央図書館等を建設してありますし、今後は既に建設した老人憩の家も含め青少年その他各階層の集会、活動、研修の場としての小・中規模の施設をきめこまかに地域の実状にあ

った方法で建設していきたいと考えています。

また、勤労者のため野外体育施設を兼ねそなえた大規模な福祉センターの建設について、来年度実現するように労働省の関係団体であります雇用促進事業団に誘致運動をしております。見通しはやや明るくなってきています。

防犯灯の電灯料金など

市で負担を

議員 防犯灯はほとんど町内会や自治会等で設置し、電灯料金も全額負担していますが、この防犯灯の管理は市で行なうことができないのですか。

現在の市の財政状況から判断して防犯灯の管理はそれほどむづかしいとは思われません。市はどのようにお考えですか。

市長 町内会、自治会等が集めた会費の相当多くの部分が、防犯灯の電灯料にあてられておりまして、この点市から補助してもらえないかとの話しもありますので検討はしておりますが、なにぶんにも一億円程度の維持費、電灯料金が必要になりますので簡単に踏み切れないのです。

電灯料金の軽減については、従来から九電に呼びかけ軽減してもらっていますが、今後とも防犯灯に限って九電に対し軽減方を要請していきたいと思えます。

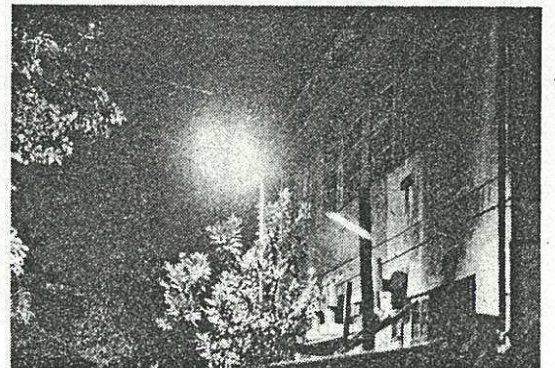
また、維持費、電灯料金などの市費負担については、他の都市の実施状況を調査し検討していきます。

汚でい処理

議員 汚でい、生し尿の海洋投棄を藍島沖から島根沖に変えるということは、都市問題の根本的解決にはなりません。海洋汚染防止のために陸上で処理する方策はないのですか。

清掃事業局長 海洋汚染防止法では、指定海域には、生し尿の投棄は認められています。しかし北九州市では、法律で規制しているよりも、きびしい態度で処理計画を進めておりまして、十一月中には、生し尿の海洋投棄は全廃の予定です。汚でいは、下水処理の最終段階で出てくるもので、現在では海洋投棄に頼らなければいけません。

なお、汚でいの陸上処理については、試験的に実施していますが今後とも技術的な検討を加えていく予定です。



決算特別委員会の審査から



昭和47年度決算を審議するための決算特別委員会は、三つの分科会に分れ、9月22日から7日間にわたって開かれました。

この委員会では、昭和47年度予算の執行状況、行政効果などを慎重に審査するとともに、今後の行政の進め方について、活発な質疑応答が行なわれました。

以下、各分科会のおもな質疑や、要望を取り上げてみました。

市民サービスの向上など

第1分科会

委員 日常における市民の複雑多岐にわたる要望、苦情等を迅速かつ適切に処理するために、機動力を備えた部課を設置し、市民相談の窓口の強化拡充を図るべきではないですか。

当局 本庁に集中している権限の見直しを行ない、各区役所等に権限の委譲を行えば、市民相談室の機能も十分発揮できると考えます。

いずれにしても、住民の要望等を取引した行政を行なうように努めます。

委員 瀬戸内海環境保全臨時措置法の制定により、響灘埋立工事については、当初計画のままで行なうことができなくなったと思

いますが、計画の手直しを行なう考えはありませんか。

当局 埋立計画については、今日まで必要に応じ計画の修正を行なってきたので、今回、法が制定されたことよって、直ちに手直しをする考えはありません。

委員 老人医療費の無料化に伴い、公、私立病院には、老人の入院患者が増大し、一般患者の入院に支障をきたしています。

老人入院患者の実態をはあくするとともに、老人ホーム等のあり方については、見直しする時期にきているのではないかと考えますか。

当局 国においても、老人医療体制を強化するため、国、公立病院に老人専用病棟を設けるなどの検討が進められています。また慢性的な人々については、老人医療

体系上問題があり、むしろ特別養護老人ホームで応えるべきと考えますので、今後とも増設に努めるとともに、収容の場から、生活の場へきりかえるなど、質的な向上にも努めてまいります。

公害防止など

第2分科会

委員 公害防止に対する施策はすべて国の定められた基準の範囲内で行なっています。他市においては、国の基準以上の対策を行なっているところもあります。北九州市はどうしてできないのですか。

当局 国の基準は市民の立場に反するものとは考えません。

したがって、市は基本的には国の基準に基づいて対策を実施しており、今後もこの方針で進む考えです。

ただ、国の基準の画一性を補うものとして、国の基準に更に上乗せして公害防止条例、公害防止協定等による対策を実施しています。

条例は公害を防止する手法を決めているものであり、現在のところ改正するつもりはありません。

委員 響灘、新門司臨海工業用地の開発と馬島における石油基地建設等の公害対策はどのように考えていますか。

当局 響灘臨海工業用地の開発については、目下、水質、潮流その他周辺におよぼす影響について調査を委託しています。科学的データが判明次第、その結論に従

って措置します。

公害企業については、市の発言力を行使できるような措置を講じているので進出をことわることになりません。

馬島に石油基地を建設することは、無公害であると確信がもてず、また、従来から石油企業は進出をことわるとの方針を堅持してまいりました。

委員 公害の実態を調査、はあくするために、衛生局所管の衛生研究所がありますが、公害対策局として独自の機関を設けてはどうですか。

当局 現在、環境衛生研究所の建設に着手していますので、その内容の充実を図るとともに、組織機構上の問題で公害対策に支障のないように十分留意してまいります。

委員 遠賀川河口堰の建設は中止すべきではありませんか。

当局 河口堰建設は、本来、治水、利水の面から、国によって計画されたものであります。

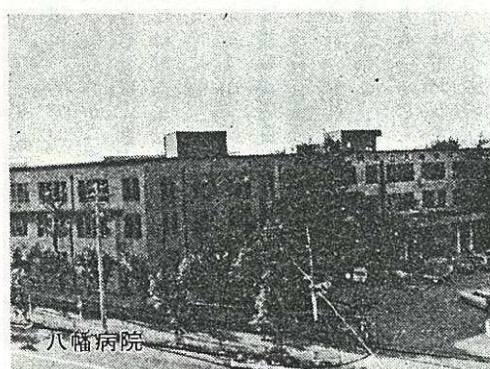
本市にとって、今後の水需要を考えた場合、是非とも必要な事業であります。

委員 現在欠員となっている医師の充足を図るとともに、患者が安心して治療できる諸施設の改善に努めるべきではありませんか。

老朽化のひどい八幡病院を改築してはどうですか。

当局 医師が不足していることは、まことに憂慮すべきことです。この問題は、単に報酬や研究施

設の不備などの問題だけでなく、医療体系のゆがみが一面的に出てくるものと推察します。医師が不足している事実は事実として、その充足に一層の努力を重ねます。八幡病院については、計画されている胸部疾患センターの建設とも併せ総合的見地から着手してまいります。

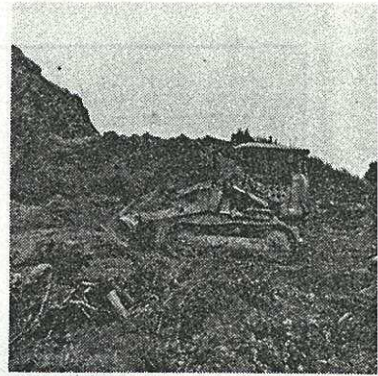


用地買収・開発など

第3分科会

委員 道路建設事業の推進に用地取得が早い路となつているので、当局で代替地としての土地を確保し、土地交換希望者には代替地を提供できるように検討してはどうですか。

当局 膨大な用地取得件数や、北九州市における土地事情あるいは希望の充足などから現実問題として代替地方式は困難です。土地交換では国の補助金がかからないという予算上の関係もありますので、原則的には現制度を変更する



考えはありません。

委員 風致地区で無許可で開発を行なっている業者をどのように指導していくのですか。

当局 無許可で開発を行なっている業者には、工事を中止させます。風致地区条例では、十分な効果は期待し得ないので、抜本的な対策として、強い規制力をもつ都市緑地保全法により、都市緑地保全区域を設定したいと考えています。

委員 市営住宅団地および教育施設の環境を阻害するおそれのある都市計画、道路計画は変更を求める考えはないですか。

当局 住宅団地の入居者は、環境よりも生活の利便さを重視したきらいがあります。教育環境の保全については、校舎設備の補充あるいは、計画変更の要請など十分配慮します。

委員 中高層ビル、特に病院火災については、どのように対処してきましたか。また、今後どのように規制指導していくのですか。

当局 市内各病院の管理者等に適切な指導を行なうとともに、建

築局と合同で一斉点検を実施しました。防火避難施設等の改善命令を出し、現在、その追跡調査を行なっています。今後火災予防等について慎重に指導してまいります。

要望事項

総務

・一次災害を未然に防止するような万全の防災体制を確立すること。

・宅地防災工事資金融資制度の貸付額の大幅な増額と手続き事務の簡素化を図ること。

財政

・超過負担の解消に努めること。

経済

・消費生活センターの相談員、補助員の待遇改善について検討すること。

・小額無担保資金融資制度の貸付条件の緩和を検討すること。

・関係部局との連携を密にし、地域の意向を十分考慮しながら鉱害復旧の促進を図ること。

・本年度から鉱害物件が一括して認定されることになったことを、鉱害地域住民に周知徹底すること。馬島、藍島間を就航する小倉丸の大型化と、小倉渡場待合室の改築を図ること。

下水道

・下水道普及工事に伴う住民の損

害補償に對して、調査に万全を期すること。
・水洗化普及に関する助成金あるいは貸付金制度については限度額の引き上げなど現実に即した措置を講じること。

失業対策

・失業対策事業については、作業賃金においても国の定める日額に到達する格付けなどを配慮をすること。

建築

・市営住宅の維持修繕に關し、入居者の要請に即応できる体制を図ること。

・罹災者の市営住宅入居について入居基準に固執することなく、特定期間のみ入居を許可する方法など検討すること。

・モーター等教育環境を害する施設の建築申請は、確認に際して慎重を期すること。

水道

・赤水対策、高台給水対策、未給水地域の解消、老朽管の布設替え等に努めること。

・夜間、休日、祭日における漏水、修繕の市民の要求に、迅速に応えられる業務体制を確立すること。

教育

・義務教育費の父兄負担の解消に努力すること。

・高校入試緩和と高校教育の充実のために、高校新設に積極的に取り組むこと。

常任委員会の審査から

各常任委員会は、十月二日から二日間にわたって開かれ、昭和四十八年度北九州市一般会計補正予算案など三十八件を慎重に審査しました。

以下各常任委員会の質疑や要望のおもなものを取り上げてみました。

総務財政委員会

北九州市特定国有施設取得開発基金条例について

委員 本基金を設置しなくても取得に際しては、現在設置している財政調整基金の運用や起債、国

庫補助等で十分対処できるのではないですか。
むしろ、この五億円は市民生活の向上のために活用すべきです。
当局 今後の財政運営は必ずしも樂觀を許さず、財政調整基金の取りくずしの必要も予測されま

近い将来、市内の大規模な国有施設の取得が見込まれていますので、必要な措置を今からしていなければ、他の事業の執行に影響を与えることも考えられますので、やはり基金を設置することは、財政上必要なことです。

民生水道委員会

身体障害者福祉対策

委員 身体障害者福祉モデル都市の指定を受けましたが、モデル都市としてどのような施策を実施するのですか。また広範にわたる事業の推進のため組織の充実や審議会を設置する考えはありませんか。

当局 モデル都市の目標として
一、施設の整備、拡充
二、在宅心身障害者の援助
三、心身障害者のための住みよい町づくり
の三つを柱として推進します。

これらの事業計画については、現在の社会福祉審議会で基本路線を出してもらう方法もあります。が、実施にあたっては、関係団体の意見を十分尊重して、慎重に進めていきます。



推ノ未柱にて

要 望
 老人いこいの家の増設と内容の充実を図ること。
 保育所の設置にあたっては、幼稚園を所管する教育委員会とも十分協議のうえ、適切な配置をすること。

公害衛生委員会

カネミ油症など

委員 油症治療研究班の現在までの研究成果を発表するとともに未認定患者を含めた一斉検査をすみやかに実施すべきです。
当局 研究の結果については、年一回報告を受けているので、今後は議会に対し、その報告書を出すとともに、市民にも周知徹底を図るように検討します。
委員 公害による被害者救済に

要する経費は、企業に全額負担させるべきです。

当局 公害に係る健康被害の救済に関する特別措置法による費用の負担割合は、医療費等については、企業が六分の三、国、県、市がそれぞれ六分の一を受け持ち、事務費については、企業は負担していませんでしたが、今回、市が実施する救済制度では、事務費の二分の一を除き、全額、企業負担になっていきます。

要 望

。新門司清掃工場の建設にあたっては、地元関係者と十分話し合い公害等の被害が生じないようにすること。

経済消防委員会

国民宿舎の宿泊料等の改正について

委員 国の基準が改定されても国民宿舎めかり山荘、山の上ホテ

山西覚議員逝去

さる九月二日 山西覚議員(八幡区選出、六十二歳)が、脳出血のため急逝されました。



同議員は、昭和二十六年四月以来十八年間のながきにわたり八幡市議会議員、北九州市議会議員をつとめられました。その間、八幡市議会副議長をはじめ

ここにつつしんで故人のごめい福をお祈り申し上げます。

め幾多の役職を歴任され、北九州五市合併に尽力、引き続き創生期の新市の基礎づくりに大きく貢献されました。

この功績をたたえ、同議員の逝去に際し、正六位勲五等双光旭日章が授与されました。

ルの宿泊料等を改正する必要はないのではありませんか。

当局 諸物価が高騰しているため、現状のままでは利用者に対するサービスが低下します。

大部分の国民宿舎は、既に料金改正を実施しており、全国的に歩調を合わせる必要があります。

建設交通委員会

要 望

。幹線道路だけでなく、市民の望む足もと道路、身体障害者福祉モデル都市宣言に伴う道路の整備等にも意をそそぐこと。
 。国道三号線から総合体育館への取付道路を早急に整備すること。
 。下水道工事の請負契約締結にあ

たっては、地元業者育成の見地から、技術的に可能な限り地元業者を入札に参加させること。

文教建築委員会

要 望

。予算上市の建築事業圧縮の事態が生じたとしても、教育の義務制に着目して、学校建設については、遺漏のないように措置すること。

。近く開館される総合体育館、中央図書館、美術館などの社会教育施設の運営方法については、画一性が必要であり、各施設を統括した管理運営方法を検討すること。
 。総合会館の施設の管理について一団性を確保するため、さらに検討すること。

請願と陳情

採択されたもの

請 願

- 。水道管の敷設について(小倉区山路八組)
- 。精神病院の設置反対について(八幡区西台良町)
- 。国家補償による被爆者完全援護法の制定について
- 。歩道柵新設について(八幡区下上津役筒井団地横の市道)
- 。陸橋の建設について(八幡区明石公園の前)
- 。公園設備の新設について(八幡区下上津役筒井団地内)

陳 情

- 。建郷川の浄化と側壁整備について(八幡区下上津役)
- 。山田大谷山の防災措置について(小倉区熊谷三丁目)
- 。本城自然公園設置について(八幡区本城)
- 。産炭地開就事業のわく拡大について
- 。南小倉中学校施設の建設促進等について
- 。長期結核入院患者に対する夏期見舞の支給について
- 。中小企業労働者に対する健康診断の実施について
- 。長期入院患者への夏期見舞金の支給について
- 。耳鼻科および眼科医の開業あっせんについて(八幡南部校区)
- 。失業対策事業賃金の再改定について
- 。産炭地開就就労事業計画の確立について

お 願 い

。請願書及び陳情書は、件名、趣旨、理由を簡明に書いてください。

□全世帯配布

□編、北九州市議会事務局

□印刷

双羽印刷株式会社(八幡区)



完成近い総合体育館

